富永神社祭礼奉納

能組

とき　平成五年十月八日（金）
午後四時始
ところ　富永神社　能楽殿

能

養老　荒井裕子

仕舞
羽衣　大岩純子
蝉丸　荒井万友美
猩々　榊原香奈子

狂言
口真似　太郎冠者　藤野いつか　主客　赤堀有香　小田知枝
後見　松井平

狂言
太刀奪　太郎冠者　林恭次　主通行人　西田章悟　伊藤真博
後見　松井平

仕舞
天鼓　大岩邦江
玉葛　山本晃子
鞍馬天狗　松沢章

田村

後シテ　中嶋康夫
前シテ　鈴木洋一
ワキ　竹内省吾
大鼓　清水利高
小鼓　福井啓次郎
笛　竹市学
後見　水谷清
地謡　竹内三郎　鈴木肇　太田康弘　高林白牛口二　田中洋二　高林呻二

狂言
佐渡狐　佐渡の百姓　安形忠久　越後の百姓　佐藤友彦
奏者　大原正己
後見　中山伸一

休憩　三十分

独調　玉葛　高林白牛口二　小鼓　今岡アイ子

舞囃子　西王母　太田康弘　大鼓　清水利高　太鼓　中嶋康夫　小鼓　森田牧　笛　今泉英三

独調　竹生島　高林白牛口二　太鼓　水谷清

狂言　二人袴　むこ　水谷至男　親　酒井宏　しゅうと　小林常男　太郎冠者　権田重紘　後見　佐藤友彦

能　葛城　シテ　鈴木肇　ワキ　竹内三郎　大鼓　河村総一郎　太鼓　鈴木崇史　小鼓　永田六兵衛　笛　今泉英三　間　畑中良雄　後見　竹内省吾　地謡　水谷清　太田康弘　田中洋二　高林白牛口二　鈴木洋一　高林呻二

附祝言

（終了予定　九時三〇分頃）

主催　新城能楽社中

本町区

あらすじ

狂言

口真似（くちまね）

知人から酒肴を貰った主人、程よい相手を連れて来る様にと太郎冠者に言い付けます。ところが連れて来たのは評判の酒乱の男で、一盃飲んでは一寸抜き、二盃飲んでは二寸抜き、後にはするりと抜いて酔狂する者です。
一計を案じた主人は、太郎冠者に自分の言う様する様にせよと言い付けます。

狂言

大刀奪（たちうばい）

主人が北野へ参詣すると言います。そこで太郎冠者に槍なりとも、大刀なりとも持って供をせよと言いますが槍も、大刀もないので身すがら参詣に行きます。そこへ良い大刀を持った者が通り掛かります。太郎冠者は考えて主人に刀を借りて大刀を奪おうとしますが返って主人から預かった刀を取られてしまいます……

能

田村（たむら）

東国の僧が都見物に出、弥生なかばに清水寺に着き、爛漫と咲くたそがれ時の桜花に見とれていると、箒を手にした一人の童子が現れ、木陰を清めます。そこで僧が、この寺の来歴を尋ねると、それに応じて清水寺建立の縁起を詳しく語ります。またあたりの名所を教え、ともに桜月夜の風情を楽しみます。その様子が常の人とはどうも違うのをいぶかった僧が、童子に名を尋ねると、我が名を知りたくば帰る方を見て下さいと田村堂の内陣へと姿を消します。（中入り）
僧が夜もすがら桜の木陰で経を読んでいると、威風堂々たる武将姿の田村麻呂の霊が現れます。そして勅命を受けて、鈴鹿山の賊を討伐すべく軍を進めたが、合戦の最中に、千手観世音が出現し、その助勢によって、敵をことごとく滅ぼした有様を物語り、これも観音の仏力でると述べます。

狂言

佐渡狐（さどきつね）

越後の国の百姓と佐渡の国の百姓が上頭へ御貢を捧げに同道します。
お互いに国の自慢話をしている内に越後の国の百姓が佐渡に狐が居ないと言いますが佐渡の百姓は狐が居ると言ってしまいます。
実は佐渡に狐が居ないので全く知りません。佐渡の百姓は奏者に袖の下を渡して狐とはどの様なものか教えて貰います。

狂言

二人袴（ふたりばかま）

大安吉日に聟入りするに当たり親子が先方へ挨拶に行く。袴が一着しかないので聟と親が交互に出ると両人一緒に挨拶がしたいと言うので一着の袴を二枚にして前だけ当てて何喰わぬ顔で盃事や舞をする。
さて、其の首尾は？……

能

葛城（かつらぎ）

出羽国（山形県）の羽黒山から出た山伏が、大和国（奈良県）の葛城山へとやって来ます。折りしも降りしきる雪に悩んでいると、一人の里女が現れ、彼女の庵に案内し、焚火をたいてもてなします。そして雪の中で集めとて束にした木々の細枝を標（しもと）と呼ぶのだといい「標結ふ葛城山に降る雪の、間なく時なく思ほゆるかな」という古歌もあると教えてくれます。山伏は好意を謝し、やがて後夜の勤行を始めようとすると女は、お勤めのついでに加持祈祷をして、自分の三熱の苦しみを助けて下さいと頼みます。山伏は不審に思って、その素性を尋ねると、自分は葛城の神であるが、昔役の行者に命ぜられた岩橋を架けなかったため、不動明王の索に縛られしんでいるといって消え失せます。（中入）

そこえ麓の男が上って来たので、葛城山の岩橋の事について尋ねます。その話を聞き、先程の女の事など思いあわせ、奇特なことと思い、夜もすがら女神のために祈祷します。すると、その修法にひかれて葛城の神が現れ、三熱の苦を免れた喜びを述べ、大和舞をまい、暁近くなると、岩戸の内え姿をかくします。